



中部の「農商工等連携事業計画・農商工等連携支援事業計画」の平成21年度第1回認定について

平成21年7月17日
北陸農政局
東海農政局
中部経済産業局

北陸農政局、東海農政局及び中部経済産業局では、平成20年7月に施行された「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律（農商工等連携促進法）」に基づき、平成21年度第1回目となる「農商工等連携事業計画」6件及び法施行後中部地域では初めてとなる「農商工等連携支援事業計画」1件の計7件について、本日認定を行いました。

1. 農林漁業と商業・工業等の産業間連携を強化し、地域経済を活性化するため、農商工等連携促進法が、平成20年5月23日に公布、同7月21日に施行されました。
2. 「農商工等連携事業計画」とは、中小企業者や農林漁業者が一次、二次及び三次の産業の壁を超えて有機的に連携し、互いが有する強みを発揮した新商品等の開発や販路開拓等の促進を目指しており、この度、平成21年度第1回目として6件を認定しました。（一覧表は別紙のとおり）。
3. 「農商工等連携支援事業計画」は、中小企業者や農林漁業者との交流の機会の提供、中小企業者又は農林漁業者に対する農商工等連携事業に関する指導又は助言、その他の中小企業者と農林漁業者との有機的な連携を支援することを目指しており、この度、中部地域においては法施行後初めての認定を1件行いました。
4. 中部地域において、平成20年度は29件の農商工等連携事業計画を認定しており、今回の認定7件（農商工等連携事業計画6件、農商工等連携支援事業計画1件）をあわせて、36件の認定となります。
5. 農商工等連携事業計画の認定を受けた事業者に対しては、専門家によるアドバイスなどのほか、試作品開発や販路開拓に対する補助、設備投資減税、中小企業信用保険法の特例、政府系金融機関の低利融資等による支援措置が講じられております。
農商工等連携支援事業計画の認定を受けた事業者に対しては、中小企業者と農林漁業者の交流イベント等の企画・運営や研修等に対する補助、中小企業信用保険法の特例による支援措置が講じられます。

6. また、「農商工等連携事業計画」の法律認定を目指す中小企業者と農林漁業者の取組を支援するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構中部支部及び北陸支部に設置された地域活性化支援事務局や地域力連携拠点（中部管内33か所）において、引き続き、事業計画の相談受付を行っています。

※関連HP

中小機構URL：<http://www.smrj.go.jp/>

農商工連携パーク：<http://j-net21.smrj.go.jp/expand/noshoko/index.html>

（お問い合わせ先）

北陸農政局 生産経営流通部 食品課

担当：永井、堀

電話：076-232-4233（直通）

東海農政局 生産経営流通部 食品課

担当：藤野、伊藤

電話：052-223-4619（直通）

中部経済産業局 産業部 経営支援課

担当：加藤、中島、飯野

電話：052-951-0521（直通）

平成21年度 中部の「農商工等連携事業計画・農商工等連携支援事業計画」第一回認定の事業概要

(農商工等連携事業計画)

平成21年7月17日

事業名	連携体			事業の特徴
	中小企業者	農林漁業者		
渡嘉敷産黒しょうがを用いたサプリメント等の製造・販売事業	(株)コーハン 【愛知県名古屋市】	農業生産法人(株)ゆめ島 とかしき振興会 【沖縄県渡嘉敷村】		【愛知と沖縄の長距離連携により黒しょうがのサプリメントが実現。新規用途開拓により地域農産物の需要拡大が期待される】 渡嘉敷島では環境悪化を危惧して全島をあげて無農薬栽培を実践。その中で有機栽培されたポリフェノールが豊富に含まれる黒しょうがを97.5%含む高純度サプリメントを製品化し、販売。
ココ椰子繊維由来の素材を使ったハーブ・観葉植物等の花きの開発・育成・販売事業	(株)美里花き流通グループ 【愛知県名古屋市】	石川 良三 【愛知県豊明市】 伊藤 好博 【三重県木曽岬町】		【花きの栽培履歴や栽培方法をWebにより情報発信。生産農家と消費者を繋いだ商品開発と流通方法の確立により、花き業界の活性化が期待される】 塩ビ容器に換えてココ椰子素材の容器を活用し、難しい発芽段階に農家の栽培技術を取り入れて苗まで生育。環境配慮型でビジュアルに優れた花きをインテリア素材、フードニング素材として提供。
知多牛を使用したビーフシチュー等のレトルト食品の製造・販売事業	(株)山田家 【愛知県半田市】	愛知県酪農農業協同組合 【愛知県岡崎市】		【こだわり調理法のデミグラスソースと徹底した飼育管理による高品質な知多牛がコロボ、高付加価値ビーフシチュー等の普及を通じて「知多牛」ブランドの確立が期待される】 ブランド牛である知多牛で、手間暇かけて風味のよいデミグラスソースのビーフシチュー等を製造し、販売。レトルト食品でありながらレストランで提供するような本格的な味を実現。
三重県産天然「ありのふく」を使用したトラフグ加工食品等の開発・販売事業	丸勢水産(有) 【三重県志摩市】	安乗の漁業者4名 【三重県志摩市】		【CAS冷凍等の導入により、漁獲期に限られる天然トラフグの年間を通じた市場への提供と漁師の平準化を実現し、地場産業である漁業の活性化が期待される】 三重県安乗地区の伝統漁法に加え、独自の船上加工で高付加価値化した「ありのふく」の特性を活かした鍋セット等の調理品やフグ汁等の加工品を販売。
富山湾海水を活用した陸上養殖により白子を極大化したトラフグの加工品製造・販売事業	(有)快成 【富山県富山市】	堀岡養殖漁業協同組合 【富山県射水市】		【富山湾の海の幸としてトラフグのブランド化が期待される】 12月に白子を最も大きくさせる技術を用いてトラフグの養殖を実施し、鮮度の高い「白子」商品をフグ需要期に提供するとともに、年間を通じてセット商品を製造・販売。
加賀野菜「金時草」をベースとしたパスタソースの製造・販売事業	(株)フレッシュ金沢 【石川県金沢市】	金沢市北袋野菜づくりの会 【石川県金沢市】		【新規需要開拓による加賀野菜「金時草」の消費需要拡大が期待される】 種からの栽培が極めて難しい作物「金時草」の苗の越冬技術を普及し、安定的な生産量の確保に取り組む。その金時草を活用し、和風だしと組み合わせたパスタソースを製造・販売。

(農商工等連携支援事業計画)

事業者名	活動エリア		支援事業の内容
NPO法人 スターシップ農商工連携支援機構 【石川県金沢市】	石川県、富山県、福井県	 	中小企業者と農林漁業者に対して定期的に農商工連携のためのビジネスマッチング交流会の機会を提供し、農商工等連携事業の形成を実現させる。 また、連携事業の進捗する過程において、中小企業者や農林漁業者の経営力向上のため、マーケティング、商社等の販売ルートに関する専門家を活用してビジネスに直結した計画指導・助言を行う。

地域	愛知県名古屋市	認定日	平成21年7月17日	通巻番号	4 - 21 - 030
----	---------	-----	------------	------	--------------

新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

渡嘉敷産黒しょうがを用いたサプリメント等の製造・販売事業

渡嘉敷島で有機栽培された黒しょうがを97.5%含む、ポリフェノール豊富な高純度サプリメントを製造し、沖縄県のお土産店やゴルフ場で販売を始め、全国へ販路拡大する。

➤ 連携体

農林漁業者

農業生産法人株式会社ゆめ島とかしき振興会（農業）

渡嘉敷島全島で行ってきた農薬や化学肥料を使用しない有機農法で黒しょうがを栽培する。

中小企業者

株式会社コーハン（飲食料品卸売業）

ゆめ島とかしき振興会が栽培した黒しょうがから純度97.5%のサプリメント（風車祭）を製品化し、全国に販売する。

連携参加者

有限会社沖縄長生薬草本社

長年ウコンのサプリメント製造に携わり、その技術を基に高純度サプリメント（風車祭）を製造する。

サポート機関等

地域活性化支援事務局

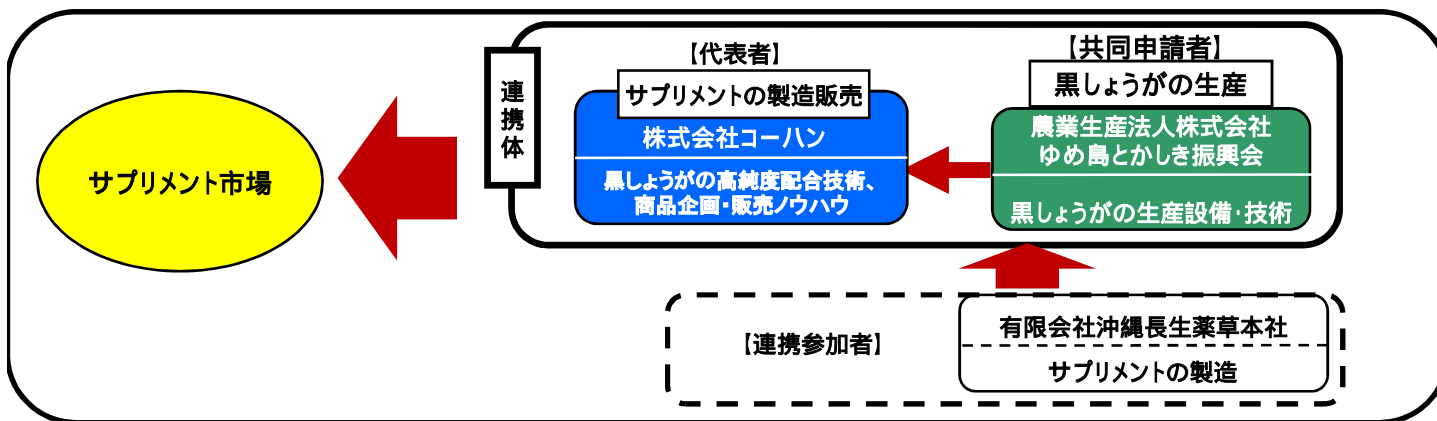
➤ 連携の経緯

環境悪化を危惧し、全島で無農薬栽培を実践する中で(株)ゆめ島とかしき振興会は台風被害が少ない黒しょうがの栽培に着手。連作障害等が多く、栽培に苦労したが、土壌や施肥方法等の研究により安定生産を実現した。また、黒しょうがの持つ栄養成分に着目した(株)コーハンがサプリメント（風車祭）の商品企画を行い、両者の連携に至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

沖縄県渡嘉敷島にて有機栽培された黒しょうがのサプリメント化において、各種試作実験の結果、97.5%という高純度の配合を可能にした。今後は、アントシアニン・クリシン・アピゲニン等のポリフェノールを多く含む黒しょうがの毒性試験等の各種試験を実施することによって、更なる差別化・優位性を確立する。また、その機能を活かして、他の商品の開発をして、売上の拡大を図る。



➤ 連携による効果

農林漁業者

3年で1,680万円の売上高増加、地域ブランド「黒しょうが」の確立

有機農法で作付面積を拡大して、黒しょうがの栽培を増加させ高収益が見込まれる。

中小企業者

3年で1億円の売上高増加、新規雇用5名の増加

黒しょうがのサプリメントを新聞・テレビ等で宣伝して販売を全国に拡大し、売上の増加を図る。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社コーハン
TEL：052-261-8133
E-mail：mail@kohan-eco.co.jp

所在地：名古屋市中区栄五丁目11番22号
名急社ビル2F
FAX：052-261-8136
ホームページ：http://www.kohan-eco.co.jp

地域	愛知県名古屋市	認定日	平成21年7月17日	通巻番号	4 - 21 - 031
----	---------	-----	------------	------	--------------

新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

ココ椰子繊維由来の素材を使ったハーブ・観葉植物等の花きの 開発・育成・販売

生分解性、保水・透水性等の特徴を備える天然素材を容器・用土に活用し、ビジュアルに優れた花き製品を開発・育成・販売。

➤ 連携体

農林漁業者 石川 良三、伊藤 好博（農業）

ココ椰子繊維由来の容器・用土を用いた育苗方法の開発、これらの素材を用いた花き製品の栽培をおこなう。

中小企業者 株式会社美里花き流通グループ（その他卸売業）

ココ椰子繊維由来の素材を使った花きの商品開発、販売をおこなう。

連携参加者

サポート機関等 地域活性化支援事務局

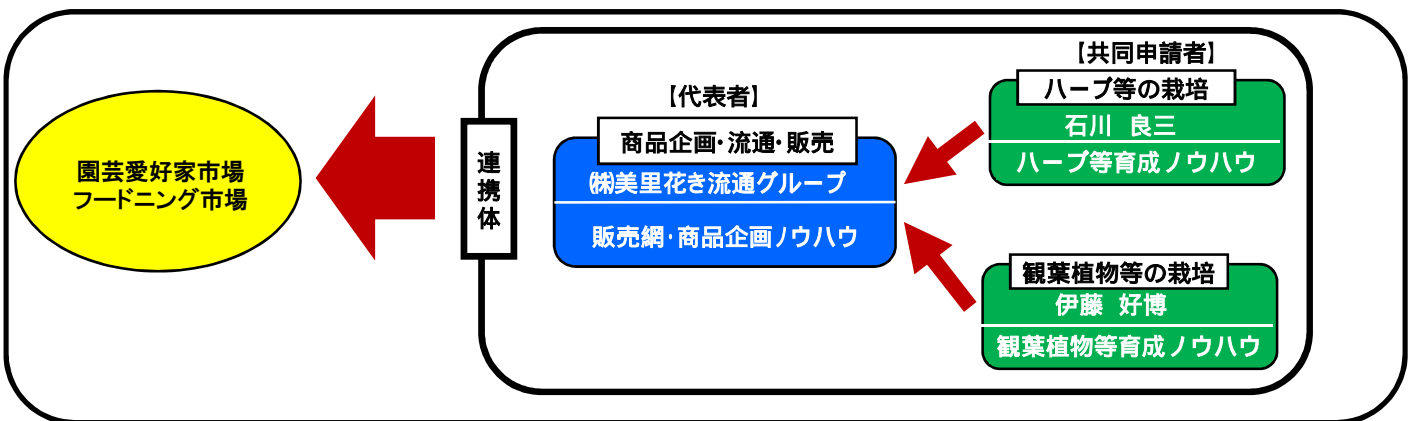
➤ 連携の経緯

市場流通している規格品との差別化を図るため、付加価値の高い花き商品を模索していた株式会社美里花き流通グループが、ココ椰子繊維由来の用土を使う栽培を研究・実用化してきた石川良三、伊藤好博と出会い、市販品に見られる塩ビ容器を天然素材に転換する取り組みをおこなうため、連携事業を開始した。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

生育管理が難しい育苗段階で生物由来の素材を使うと、カビの発生や水枯れなどの懸念が生じるが、きめ細かい栽培管理技術や用土配合の工夫等、農業者のノウハウを活用して効率よく栽培を行う。

また、花きの栽培履歴や栽培方法等の積極的な情報発信及び小売店舗網等で得られる消費者ニーズの収集等、生産農家と消費者を繋ぐことにより、更なる高付加価値化に取り組む。



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年後1,650万円の売上高増加、33アールの休耕田の活用

成長市場に対応する商品を供給するため33aの休耕田等を活用し、市場を通さない新たな農業ビジネスモデルを確立する。

中小企業者 5年後4,700万円の売上高増加、新規雇用者数10名の増加

契約栽培によって安定した商材の確保を図るとともに、環境配慮やデザイン性など店頭訴求力を持った商品を提供する。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社美里花き流通グループ
TEL：052-851-3293
E-mail：misato-group@hanamisato.co.jp

所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂通八丁目9番地の1
FAX：052-851-8733
ホームページ：http://www.hanamisato.co.jp/index.html

地域	愛知県半田市	認定日	平成21年7月17日	通巻番号	4 - 21 - 032
----	--------	-----	------------	------	--------------

新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

知多牛を使用したビーフシチュー等のレトルト食品の製造・販売事業

柔らか過ぎず硬過ぎない、また、適度に脂がのった知多牛の交雑種と、手間暇かけて作り上げたデミグラスソースを活用したレトルトビーフシチュー等を開発し、直営店、百貨店等で贈答品として販路開拓を行う。

➤ 連携体

農林漁業者

愛知県酪農農業協同組合（農業）

知多牛の生産技術を活かし、柔らか過ぎず硬過ぎない、また、適度に脂がのった交雑種の生産に取り組む。

中小企業者

株式会社山田家（飲食業）

知多牛の交雑種を活用したレトルトビーフシチュー等を開発し、直営店や百貨店、ネット販売等で販路拡大する。

連携参加者

サポート機関等

半田商工会議所、地域活性化支援事務局

➤ 連携の経緯

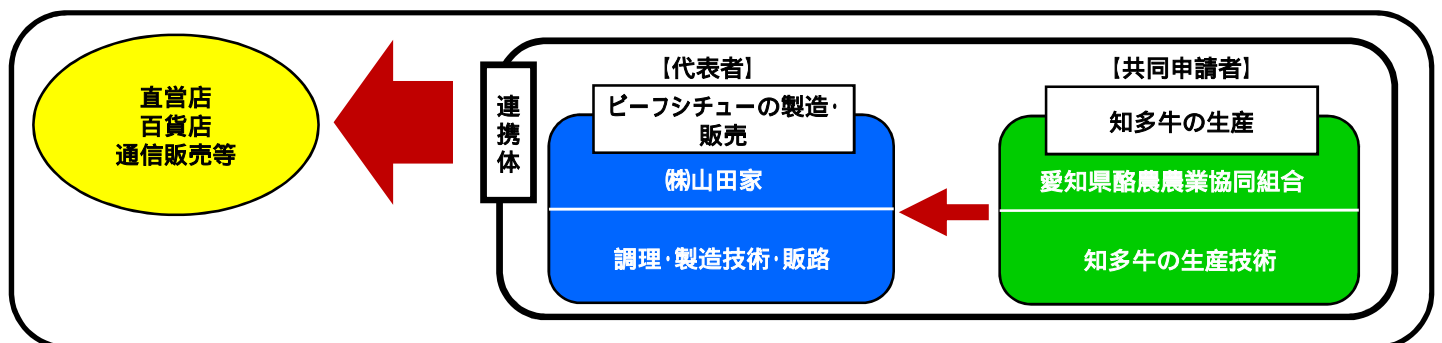
知多地域においてレストランを営む(株)山田家は、同地域内にて生産される知多牛を全国に紹介したいとの思いから生産農家との交流を重ねる。肉質向上、高品質化に向けた努力を重ねる中、愛知県酪農農業協同組合と連携し、「プロが調理した、おいしいビーフシチュー等」のレトルト食品の開発することで連携事業を開始した。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

独自の飼料配合と生産の一貫管理により知多牛の生産を行っている愛知県酪農農業協同組合は、(株)山田家と連携し、市場ニーズを反映した肥育方法の研究、消費者ニーズの肉質への反映等、本格ビーフシチューに最適な上質な肉質の知多牛の生産に取り組む。

(株)山田家は、知多牛を使い、レストランで提供するような本格的な味を再現したレトルト食品を製造し、収益の向上を図る。こだわりの食品ギフトとして贈答品市場を開拓し、知多牛の飼育情報の発信とPRにより知多牛のブランド力向上を目指す。



➤ 連携による効果

農林漁業者

4年後600万円の売上高増加、地域ブランド「知多牛」の確立

知多牛の肉質向上のための肥育方法の改良、ブランド力向上により、高い収益性が期待される。

中小企業者

4年後800万円の売上高増加、新規用途開拓を通じた「知多牛」のブランド化

知多牛を使用した一連のレトルト商品群を順次開発、市場を開拓し、差別化できる商品力の強化が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社山田家
TEL：0569-28-2126
E-mail：info@yamadaya.bpl.jp

所在地：愛知県半田市稲穂町1-49-2
FAX：0569-28-0008
ホームページ：http://www.yamadaya.bpl.jp/

地域	三重県志摩市	認定日	平成21年7月17日	通巻番号	4 - 21 - 033
----	--------	-----	------------	------	--------------

新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

三重県産天然「あのりふぐ」を使用したトラフグ加工食品等の開発・販売事業

高品質な天然トラフグ「あのりふぐ」を活用した鮮魚製品及び特性を活かしたフグ関連加工食品の開発、販売を行う。

➤ 連携体

農林漁業者

安乗の漁業者4名(漁業)

地域伝統の丁寧な漁法に加え、独自の活め(いきじめ)等の船上処理により、新鮮で品質のよい天然トラフグを提供する。

中小企業者

丸勢水産有限会社(生鮮魚介卸売業)

自社レストラン、調理人や既存販路を活用し、「あのりふぐ」の鮮魚製品、加工製品を開発、製造、販売する。

連携参加者

サポート機関等

(財)三重県産業支援センター、商工会連合会(志摩・度会商工会広域連合)、地域活性化支援事務局

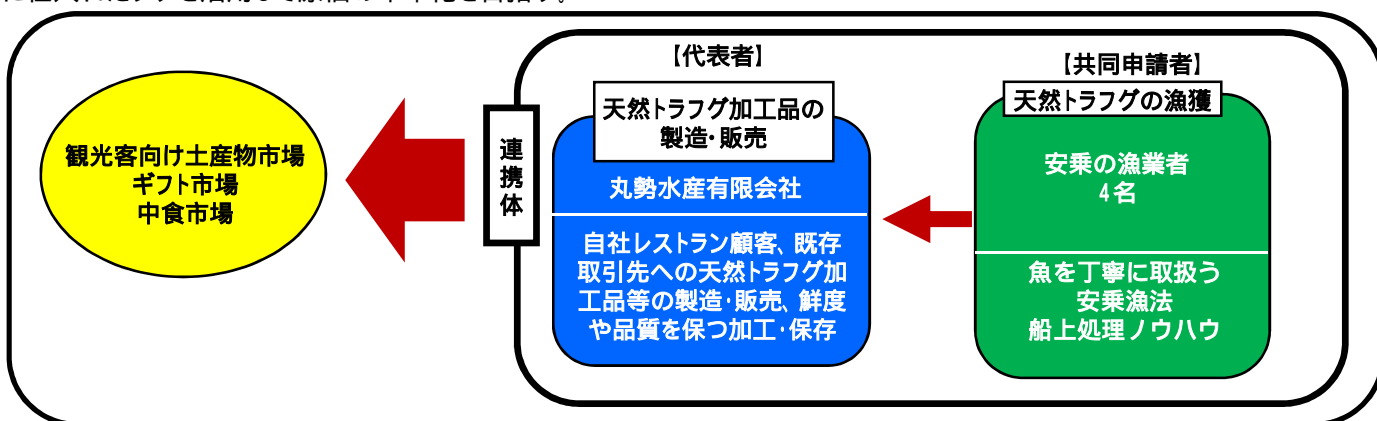
➤ 連携の経緯

三重県産天然トラフグ「あのりふぐ」のブランド化の一翼を担ってきた丸勢水産(有)が、経営の安定や収益の増大の方策を模索していた地元漁業者と、「あのりふぐ」を更に市場に広め、ブランド認知の拡大を目指す必要があること、安定した水産事業の継続のためには漁業収入の安定、改善を図る必要があるとの認識で一致し、本連携事業を開始した。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

本連携事業の4漁業者は、船上で独自の活め(いきじめ)を行うなどして品質のよいトラフグを確保する。また、丸勢水産(有)は、HACCP対応工場の新設や加工設備の導入により、本格的に天然トラフグの加工品市場に参入する。天然トラフグである「あのりふぐ」は価格の変動が激しいが、丸勢水産(有)は鮮度保持が可能な冷蔵施設等を導入し、価格の低い時期に仕入れたフグを活用して原価の平準化を目指す。



➤ 連携による効果

農林漁業者

4年後2,128万円の売上高増加、地域ブランド「あのりふぐ」の確立

市場を通さず、品質や鮮度を反映した取引価格により、経営が安定し、業績が改善することが期待される。

中小企業者

4年後6,400万円の売上高増加、新規雇用者16名増加

高品質で新鮮な天然トラフグの加工品市場を開拓し、「あのりふぐ」のブランド化や地域の活性化の推進が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：丸勢水産有限会社
TEL：0599-47-4134
E-mail：marusei@shima.mctv.ne.jp

所在地：三重県志摩市阿児町国府3628番地46
FAX：0599-47-4130
ホームページ：http://www.anorifugu.co.jp/

地域	富山県 富山市	認定日	平成21年7月17日	通巻番号	4 - 21 - 034
----	---------	-----	------------	------	--------------

新規用途開拓による地域水産物の需要拡大、ブランド向上

富山湾海水を活用した陸上養殖により白子を極大化したトラフグの加工品製造・販売事業

トラフグ需要期に最も白子が大きくなったトラフグを加工し、「白子」単体や「身欠き」、セット商品として提供する。

➤ 連携体

農林漁業者

堀岡養殖漁業協同組合（水産業）

富山湾の低温海水を利用した陸上養殖により、需要期の12月に白子が最も大きくなるトラフグの養殖を行う。

中小企業者

有限会社快成（食品製造業）

白子が極大化したトラフグをパーツ加工して、業務用「白子」、「身欠き」商品および、鍋セット、てっさセット等を提供する。

連携参加者

近畿大学水産研究所富山実験場、富山県農林水産総合技術センター食品研究所

トラフグの養殖技術の支援、および、白子等の高品質冷凍技術の支援を行う。

サポート機関等

(財)富山県新世紀産業機構、高岡商工会議所、地域活性化支援事務局

➤ 連携の経緯

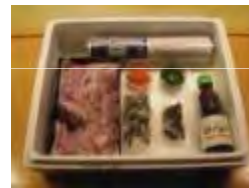
堀岡養殖漁業協同組合は、隣接する近畿大学水産研究所の技術指導を受けトラフグの陸上養殖を開始し、さらに需要が最も高まる12月に白子(精巣)が最大となる養殖の実用化を進めていた。(有)快成は同組合からトラフグを入荷し料理事業を行っていたが、トラフグの拡販を目的に両者が有する養殖と加工技術を活用して「トラフグ鍋セット」などの製造・販売を企画し、連携して本事業に取り組むこととなった。



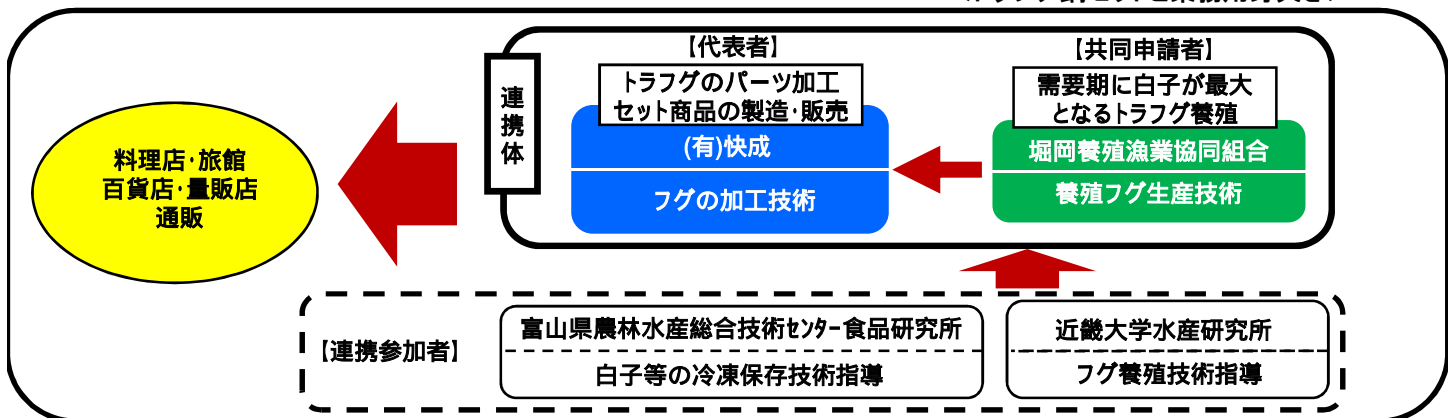
<養殖トラフグと白子>

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

堀岡養殖漁業協同組合は、陸上養殖により需要期に白子が最大となるトラフグを出荷する。(有)快成は堀岡養殖漁業協同組合に隣接して加工施設を設置することにより、鮮度の高い「白子」商品やセット商品を製造する。さらに生の白子と比べ、食感、味のそん色ない真空パックした冷凍白子商品を製造する。



<トラフグ鍋セットと業務用身欠き>



➤ 連携による効果

農林漁業者

売上高: 350万円(平成21年) 2,028万円(平成26年目標)

鮮魚以外に加工用として安定したトラフグを供給できるため、計画的な生産によるコストダウンと経営改善が図られる。

中小企業者

売上高: 45万円(平成20年) 4,323万円(平成25年目標)

需要期に最も良質な白子やトラフグの加工品を提供することにより、他社商品との差別化による売り上げ増加が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名: 有限会社快成
TEL: 076-444-1468
E-mail: info@468cha.com

所在地: 富山県富山市桜木町7-1
FAX: 076-444-1468
ホームページ: http://468cha.com

地域	石川県金沢市	認定日	平成21年7月17日	通巻番号	4 - 21 - 035
----	--------	-----	------------	------	--------------

新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

加賀野菜「金時草」をベースとしたパスタソースの製造・販売事業

加賀野菜「金時草」の鮮やかな色とゆでるとめめりができる特徴を生かして、新しい感覚のパスタソースの製造販売事業を行う。

➤ 連携体

農林漁業者 金沢市北袋野菜づくりの会(農業)

苗を越冬させる取り組み、作付け面積の拡大などを通じ、金時草の生産拡大に取り組む。

中小企業者 株式会社フレッシュ金沢(食品製造業)

金時草と“和風だし”とを組み合わせることで金時草ベースのパスタソースを製造し、業務用や土産品等として販路拡大する。

連携参加者

サポート機関等 地域活性化支援事務局

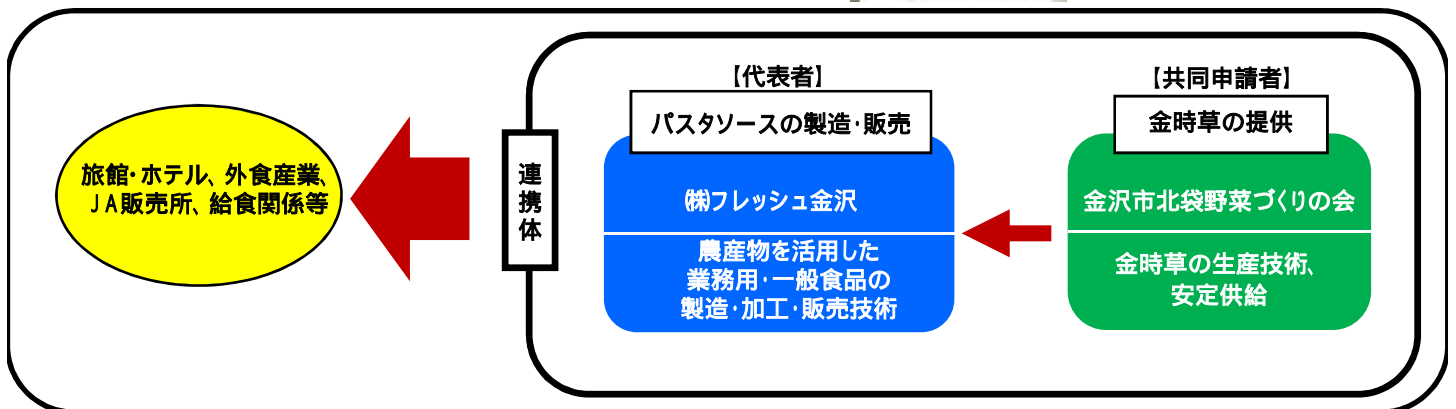
➤ 連携の経緯

業務用食材メーカーである(株)フレッシュ金沢は加賀野菜「金時草」をベースとしたパスタソースの製造・販売を計画。商品開発には、中山間地、未耕作地を活用し加賀野菜である金時草の増産を計画している金沢市北袋野菜づくりの会と連携を開始した。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

金時草は、種からの栽培が極めて難しい作物である。そのため金時草を越冬させ翌年もその苗を活用する必要性があり、金沢市北袋野菜づくりの会では、苗の越冬に取り組むはじめた。あわせて、その越冬技術の会員への普及を図ることで安定的な生産量の確保を目指す。また、(株)フレッシュ金沢は、自社の強みである和風だしと組み合わせ、金時草の特徴を活かした新たな商品を製造し、販売する。



➤ 連携による効果

農林漁業者 売上高: 0円(平成21年) 300万円(平成26年目標)

金時草の消費拡大と、栽培技術の向上・品質アップ・生産量の拡大に向けた取り組みによる経営改善が期待される。

中小企業者 売上高: 0円(平成21年) 2,000万円(平成26年目標)

金時草の特徴を活かした新商品の市場開拓による売上げ増、産地の活性化・湯涌ブランドの構築が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名	: 株式会社フレッシュ金沢	所在地	: 石川県金沢市北袋町モ26番地2
TEL	: 076-235-1711	FAX	: 076-235-1811
E-mail	: f-kanazawa@freshkanazawa.co.jp	ホームページ	: http://www.freshkanazawa.co.jp/

地域	石川県金沢市	認定日	平成21年7月17日	通巻番号	4 - 21 - 支001
----	--------	-----	------------	------	---------------

➤ **支援目標** **平成25年9月期までに5件の農商工連携を形成**

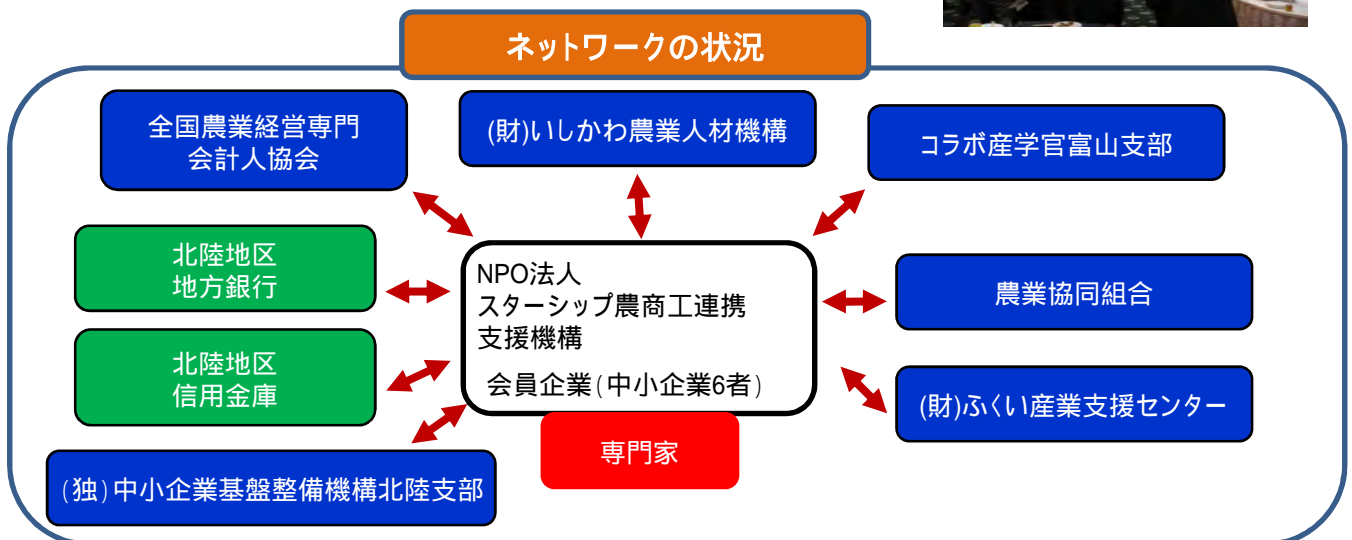
事業者名 **NPO法人スターシップ農商工連携支援機構**

➤ **支援事業の内容**

農商工等連携事業の形成を実現させるため、中小企業者と農林漁業者に定期的な交流の機会を提供するプレゼンテーションセミナーを毎年2回程度開催する。また、連携事業が形成され、進捗する過程においては、中小企業者や農林漁業者の経営力向上のためNPOに登録されるマーケティング、流通小売等販売ルート開拓に長けた専門家を活用してビジネスに直結した計画指導・助言を行う。

➤ **ネットワーク**

本NPOは、中堅・中小企業のM&Aや業務提携を支援している(株)スターシップホールディングスや農業コンサル部門を有する畠&スターシップ税理士法人などが会員企業。北陸3県の地場の信用金庫や地方銀行とはこれまでのM&A業務等において包括的に業務提携済み。(財)いしかわ農業人材機構とは農林漁業者の経営計画立案指導を通じタイアップ。また具体的取り組みを通じ、販路コーディネートに長けた専門家との関わりも十分にネットワークを保有。



➤ **活動エリア・得意とする支援内容**

活動エリア 石川県、富山県、福井県

得意とする支援内容

- 本NPOに登録される販路に長けた専門家による助言、販路ルートを見据えたビジネスに直結する計画指導・助言
- 事業者データベースを活用した中小企業者のニーズ把握、農林漁業者の経営課題の洗い出し。当データベースをもとにしたプレゼンテーションセミナーでのビジネスマッチング交流会の開催

➤ **法人の概要**

所在地 : 金沢市疋田1丁目33番地

設立年 : 平成21年4月1日

主な事業 : 中小企業者と農林漁業者間の交流機会
の提携事業等

F A X : 076-251-4615

代表者 : 理事長 畠嘉伸

社員数

(うち中小企業者): 10名(6名)

T E L : 076-252-0930

E - m a i l : nposs@starship-hd.co.jp